

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	◎	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの第7波による急速な感染拡大が懸念されるが、確実に売上は回復している。宿泊はキャンセルと予約の出入りが激しいが、トータルでは伸びている。料飲部門は少人数の宴会が動き出している。
	○	一般小売店〔土産〕 (経営者)	販売量の動き	・3か月前と比べれば販売量は多くなっている。コロナ禍で迎える7月も3回目となり、2020年度と比べれば良い状況だが、新型コロナウイルス発生前と比べると6割程度の売上である。
	○	旅行代理店(所長)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波が懸念されているものの、現段階では教育旅行を中心ににぎわっている。新規予約は若干鈍化がみられるが、キャンセルの発生は最低限に抑えられている。
	○	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・教育現場への販売は厳しい一方で、公務関係が増えてきている。
	○	タクシー(経営者)	お客様の様子	・全体的に動きが良くなってきたので、新型コロナウイルス発生前の同月と比べて、9%の増収である。
	○	通信会社(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染対策の行動制限が緩和されてきているため、飲食店を含めて来客数は増加傾向にある。ただし、現在の新規感染者数の拡大や物価上昇等の影響からか出費を抑える傾向もあるため、完全な消費回復とまではいかない。
	□	商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症による行動制限や要請は出ていないが、自らの命を守る行動が一層慎重になってきているようである。
	□	一般小売店〔精肉〕 (経営者)	お客様の様子	・毎日、暑さが厳しく人の動きは悪い。新型コロナウイルスの新規感染者数が減ってきていたが、ここに来て、当地でも他県と同様に、急に新規感染者数が増加してきている。皆、外出を控えており、人寄せのイベントも難しくなっている。ちょっと考えどころである。
	□	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が日々過去最多を更新するなか、来客数は減少傾向にある。行動制限はないものの、かつてないほどの新規感染者の増大により、自粛ムードが醸成されつつある。
	□	家電量販店(店員)	販売量の動き	・今年は梅雨が6月に明け猛暑になったが、今月は天候の悪い日がやや多く、季節商材のエアコンの伸びが鈍化し、前年比100%となっている。
	□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・6月と同様、新車は受注残の増加と販売台数の減少がある。それらを補うために整備部門の売上向上に努力している。
	□	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・今月は、新型コロナウイルスの感染対策による行動制限の緩和や、新規感染者も少なくなってきた、景気が多少良くなって、さあこれから車がたくさん売れるぞと期待していた。実際は、輸入車、国産車を問わず、新車の受注が入っても、納車は半年とか10か月先になってしまっており、売れてはいるが、絵に描いた餅で、納車ができない。そのため、中古車の販売で何とかやっている一方、修理部門は順調に入っている。せっかく2～3か月前より良くなると思っていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でこのような状態になってしまっている。
	□	自動車備品販売店 (経営者)	単価の動き	・人の動きが余り活発ではない。車を使う機会が少ないせいか、車の修理やその他購入も余り活況ではないように感じている。
□	その他専門店 〔靴小売業〕 (経営者)	来客数の動き	・今月はテナント店舗が押し上げ、来客数がわずかに増加しているが、客単価は少し下がっている。今月もメーカーの値上げがあり、この数か月間値上げが続いている。商材の入荷は少しずつ改善されてきているが、主力商材の入荷が遅れており、9月下旬くらいになりそうである。また、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加と猛暑の影響で、急ブレーキが掛かり始めている感じがする。	

□	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による行動制限は政府から出されていないものの、直近でのキャンセルがかなり多くなってきた。旅行の自粛ムードが醸成されつつあるように感じている。
□	通信会社(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第7波の影響が大きく、地方経済は停滞したままである。
□	通信会社(社員)	単価の動き	・身近でも生活用品を始め、軒並み価格上昇を実感している。一方で、企業努力で値下げをしている商材やサービスもあるので、個人的には価格上昇だけに注目してはいけないと思っている。
□	通信会社(局長)	来客数の動き	・来客数は横ばいで推移している。身近なところでの新型コロナウイルス新規感染者が目立つようになり、濃厚接触者も増えている。価格高騰や半導体不足等の外部要因は変わらない。
□	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大が不安要素である。
□	設計事務所(所長)	お客様の様子	・人の動きが良くなり景気も戻りつつあったが、ここへきて、新型コロナウイルス変異株の流行により、自粛ムードが戻りつつある。
□	設計事務所(所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響が多少ある。
□	住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・仕入も売上も伸びていない。流通の異変で通常取引ができなくなっている。
□	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・最近、また新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきたせいか、契約しようと思っていた客が、足止めを食って、ちゅうちょしている様子がみられる。また、今まで長い間、新型コロナウイルス感染症の影響があったせいか、売上が上がらなかった分なのか、家賃の値下げ交渉が始まっている。
□	その他住宅[住宅管理・リフォーム](営業)	お客様の様子	・客にとって低額で急を要する内容の工事は、比較的順調に受注がある。それ以外の工事内容では慎重な姿勢が続いている。
▲	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第7波の影響で、過去最多の新規感染者数が出ていることから、客の来店機会を逸している。
▲	スーパー(総務担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響と思われるが、週末の来客数が減少気味で、滞留時間も短いように感じている。
▲	スーパー(商品部担当)	お客様の様子	・値上げラッシュで買上単価や個数に大きく影響が出ている。特売品や目玉商材の引きはあるものの、客単価上昇までにはいかない。
▲	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・前年比で、売上は98.8%、来客数92%、客単価108%と、5～7月前半にかけては前年実績を超えていたところ、15日以降は新型コロナウイルス新規感染者数の増加とともに、前年割れの売上となっている。天候不順の影響もあるとみている。
▲	衣料品専門店(販売担当)	来客数の動き	・幾分、人の流れが出てきたかなというときに、新型コロナウイルスの感染拡大第7波がきてしまって、また外出を自粛した客が相当増えてしまっている。一段と、どん底が深くなっていくような状況で、何とも先が読めない。
▲	家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・家電販売は前年比85%と苦戦している。特に、エアコン販売は同60%で推移している。冷蔵庫や洗濯機は同102%で推移できている。
▲	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・受注状況はいまだ低調である。納車遅延も続いている。
▲	住関連専門店(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、感染リスクを避けるためか客足が遠のき、来客数が低下している。
▲	住関連専門店(仕入担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に合わせて、来客数の減少がみられる。ほとんどの商材の値上げもいまだ止まらず、同じ商材の2度目、3度目の値上げもある。必要以上の購入を抑えているためか、買上点数の減少もあいまって、厳しい状況となっている。

▲	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・ 今月は20日以降、急激に来客数が減っている。新型コロナウイルス感染拡大第7波の報道によるところが大きい。
▲	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・ 再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増え出して、客足が鈍りつつある。物価高騰も影響している。
▲	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの感染拡大による影響が多めで、団体予約はほぼキャンセルとなっている。
▲	一般レストラン （経営者）	お客様の様子	・ 土産品やドリンクが以前より出なくなっている。様々な物の値上がりで、客が出費を控えているようである。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・ 当社の主要業務である事業所給食の売上は、新年度から新規受注先を加えて、増加している。ただし、食材費、関連経費等が軒並み上昇しており、献立等の工夫だけでは追いつけない状況になっている。委託費や食単価の引上げ依頼を続けているが、コストアップに見合う引上げには時間が掛かるため、収益が圧迫されている。
▲	都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響で、企業の出張控えが進んでおり、予約数が減少している。また、既に入っている予約のキャンセルも増えている。
▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・ スマートフォンの価格改定による販売減少や、高齢者を中心に、新型コロナウイルス感染拡大第7波による外出自粛の影響で、来店予約のキャンセルが出ている。
▲	テーマパーク （職員）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、個人客が減少し始めている。
▲	ゴルフ練習場 （経営者）	来客数の動き	・ 暑い日が続いており、平日の人出が少ない。
▲	競輪場（職員）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルス新規感染者の急増により、来客数が減っている。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・ 政府は日銀に国債を買わせて、300兆円のバラマキ型の財政支出をしている。消費を促し、お金が移動すれば税収も増えるともくろんだ結果、個人貯蓄や企業の内部留保として積み上がったに過ぎない。お金は高額で貯溜し、低地には流れてこない。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・ 来店客の注文は、最低限の見積りの選択が過半数を占めている。安全や快適性は二の次の傾向で、前年同期とは大違いである。諸般の情勢からも、この傾向は収まらないとみている。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	単価の動き	・ いろいろなところで物価高になっているが、給料が上がらないのに物価だけが上がるというところでもない状況である。客は必要以外の物は買えないと思う。
×	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・ 新型コロナウイルス新規感染者数がこれだけ増えてくると、夜の居酒屋や飲食店等への来客数が激減し、その分、売上が減っている。
×	百貨店（店長）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響で、7月中旬以降、来客数が前年実績を大幅に下回り、売上も低迷している。感染状況の今後の見通しが立たないため、来客数や売上の減少がこの先も継続すると思われる。
×	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・ 当県の新型コロナウイルス感染症の警戒ステージが悪化したため、飲食業界の利用者数が減っている。
×	都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・ 今月22日に当県独自の新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが引き上げとなり、会合利用等のキャンセルや延期が相次ぎ、今月、来月と厳しい状況になっている。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・ 6月末頃から少しずつ利用客が増え始めていたものの、新型コロナウイルス感染拡大第7波の影響で、利用客が減少し、電車に乗っている人も少ない。平日は夜9時過ぎには人が減り、深夜にかけては歩いている人がいなくなってしまう。深夜2時までの営業で1～2回しか客を乗せることができない状況が続いている。

	×	通信会社（経営者）	単価の動き	・円安、原油高で仕入れコストの高騰が継続している。原油高は仕方ないにせよ、今の時期に円安維持の方針は、大きなマイナスである。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年の受注動向と変わりなく、夏季は受注が増加している。新型コロナウイルスの感染状況は改善した水準ではないものの、受注は若干改善している。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8～9月までの注文が大体入ってきているが、8月は稼働日が少ないのでそれほどでもないが、9月の受注がかなり増えてきている。他のところも大体9月頃はかなり増えてくるようである。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上、粗利共に増加し、収益が改善している。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料の値上がりにより、収益性が大幅に低下している状態である。
	□	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・どの仕入れ先からも、価格変更するという手紙をもらっている。つまり、全ての仕入価格が上がることである。切替えがとても難しく困っている。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・今のところ、受注量や取引先の様子は、低調なままで余り変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・依然として、半導体不足が改善されていない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・暑い日が続き、エアコン、扇風機、サーキュレーター等の家電用品の物量は前年並みを確保している。しかし、依然として燃料高で、新型コロナウイルスの感染再拡大により、感染したり濃厚接触者になるドライバーも増え、協力会社の車両確保などが大変厳しくなっている。
	□	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店の客足の戻りは遅い。材料費の高騰や人手不足と、いまだ厳しい状態が続いている。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・過疎の街なので、良くなるということは余りなく、やや落ちながら平行線というような感じでずっときている。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・人の動きは良くなってきている一方で、宴会が中止になりだしている。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、自動車メーカーの生産ラインストップが頻発しており、計画どおりに部品を納入できない状況が続いている。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・当社の取引先は30社ほどあるが、ほぼ全てで受注量が減ってきているので、今後やや悪くなるのではないかと。
	▲	経営コンサルタント	それ以外	・月初めは、お中元需要などで消費も順調に滑り出したようにみえたが、新型コロナウイルス変異株の派生型の急激な流行のためか、警戒ムードが広がって経済活動が収縮している感がある。梅雨明け宣言後も天候が一定せず、観光地、観光スポット等への外出動機が盛り上がっていない。
×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。公共工事は与党政権の下で順調で、大変有り難い。何しろ、野党政権時は「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズで、建設業者は悪者扱いされていた。今回の参議院議員選挙で与党が大勝したが、野党は現実性のない政策で厳しいと思われる。今期は、公共工事発注額が前年比29%減、前々年比では37%減と、信じられない状況であり、当社も厳しい決算になるとと思われる。	
×	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が急拡大して、常駐先の社員が陽性になることが増えており、欠員補充の手配が追い付かなくなっている。仕入れ資機材の納入遅れや値上がり分を価格転嫁できるよう交渉中であるが、既に値上がりして当社の利益を削った分は、利益減のままである。	
雇用	◎	—	—	—

関連 (北関東)	○	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・当社への仕事依頼は、特に、宿泊施設関係から幾つか来ているが、依頼されたといっても、現在利用している業者では対応ができないので何とかできないかといった問合せが多い。基本的には新規案件が増えているのではない。
	○	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・若干ではあるが、派遣求人数が増えている。特に、サービス業で顕著である。
	○	学校 [専門学校] (副校長)	求人数の動き	・求人数が例年の1.5倍に増えている。コロナ禍で求人を探していた企業が、今年は求人数を増やしている。また、前年まで求人を出していなかった企業も、今年は募集をしている。
	□	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・電気やガス等の値上がり予測について、周辺の企業や一般住宅でも、使用控えや節約が見受けられる。通常の購買は、生鮮品や食料品の副材料等は、やむを得ず購入するという感じで購買意欲は上がってきている。一時的に増えた建物の外装や屋根工事等は落ち着いたようで、動きがやや鈍っている。製造関係でも人手不足か生産調整で動きは鈍い。
	□	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・製造業からの派遣依頼は増えているものの、人材不足の状況が続いている。
	□	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・求人、求職者共に増えつつある。新型コロナウイルス感染防止の行動制限が解除されたので増えているともいえる。ただし、新型コロナウイルス感染症はずっと継続していくと思うので、今後の状況は不透明である。
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・4月と比べ、新規求人は飲食、サービス、宿泊業、医療、福祉等で増加がみられる。全体では、ここ3か月同水準で推移している。前年同月比では9か月連続で増加しており、雇用面では持ち直しの動きがみられる。
	▲	—	—	—
	×	*	*	*